



INSTALLATION MANUAL



BLITZ.AG

安全上のご注意

この取扱説明書は、お客様が本製品を安全に、正しく組み立て、装着し使用していただくために、装着前ならびに組み立て前に必ずお読みください。また、本製品をご使用になられている期間は、この取扱説明書を大切に保管し、売却、譲渡の際は、本製品に添付してお渡してください。品質には万全を期しておりますが、誤ったご使用方法や取り扱いによって受けられた損害や、改造、変造など行った製品を使用して受けられた損害については、弊社はその一切の責任を負うことができませんので予めご了承ください。

※ 本製品および付属品は、改良のため予告なく変更することがあります。

表示項目の説明（シグナルワードとその意味）



警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険な状況を示します。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定され、また物質損害の発生が想定される状況を示します。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険な状況を示します。

- ・ 本製品は、DC12V 車で車体（ボディ）アースの車両専用です。
DC24V または 12V・24V 兼用車に使用しないでください。火災の原因となります。
- ・ コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。
また、配線にはヒューズを取り付けたり、車体絶縁部や他の電装品と接触するような配線を取らないようにしてください。
- ・ 本製品の取付け時に、電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。
ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。
使用しない配線などは、絶縁テープを巻くなどして、必ず絶縁対策を行ってください。
- ・ 接続、取付けに関しては必ず専門の業者にて行うようお願いします。
ご自身で取付けを行う場合は必ず専門知識並びに車両知識のある方のもとで行い、慎重に作業をしてください。
- ・ 本製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、
販売店または弊社までお問い合わせください。
そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- ・ 本製品の加工・分解・改造などは一切行わないでください。
火災・感電・電装部品の破損、焼損の原因となります。
加工・分解・改造等の形跡が見られる場合、クレーム・修理の対象外とし、車両および電装品の故障や事故が発生した場合でも、弊社では一切の責任を負うことができませんのでご了承ください。
- ・ 高温になる場所や水が直接かかる場所には本製品を取り付けしないでください。
感電・火災・電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ 本製品および配線類・付属品はしっかりと固定し、視界や運転の妨げになる場所、不安定な場所に取り付けしないでください。運転に支障をきたし、事故の原因になります。
- ・ 運転者は走行中に本製品の操作を行わないでください。事故の原因となる恐れがあり大変危険です。
- ・ 本製品は純正電子スロットルの制御を目的に製作されていますので、配線の接続方法ならびに使用方法を誤ると車両の不調や故障・破損・事故といった問題が発生する恐れがあります。
製品の取付けに関しては必ず専門の業者にて行い、ご使用前には必ず本書をお読みになって、正しくお使いください。

安全上のご注意



注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定され、また物質損害の発生が想定される状況を示します。

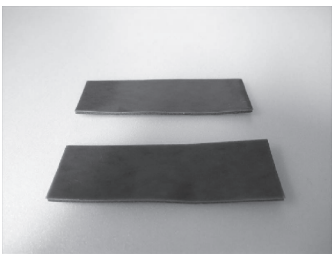
- ・ 本製品は電子部品を使用した精密機器のため、衝撃を与えたり、装着時に無理な力を加えないでください。動作不良を起こし、製品の故障や車両を破損する恐れがあります。
- ・ 本製品を長時間高温になる場所に放置しないでください。60℃以上の高温に長時間さらしたり、急激な温度差の環境でのご使用では内部回路が破壊されることがあります。
- ・ 定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件や環境などにより、耐久性が落ちることがあります。
- ・ 装着車両に、本製品以外に本製品同様のシステムを搭載した製品との併用を行った場合には、本製品の故障や車両の不具合が発生する可能性があります。
この場合、弊社では責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- ・ 本製品は純正 ECU 車両を前提に企画されております。
純正以外の ECU を取り付けている場合や ECU の書き換えを行っている場合には、正常に動作しなかったり、本製品および車両に不具合が発生する可能性があります。
- ・ 取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。弊社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ・ ボルト・ナット類は、適切な工具で確実に締め付けてください。必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損しますのでご注意ください。
- ・ エンジンルーム内の作業を行う際は、エンジンの温度が十分に下がってから作業を行ってください。エンジン本体、ラジエーター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- ・ 本製品を取り付けたことにより各装置の認識に使用されるレーダーやカメラ、センサー等の認識範囲がノーマル状態と異なり誤作動を起こす可能性も考えられます。
各自動車メーカーの安全装置・衝突回避支援装置・運転支援装置装着車など誤作動の発生やそれに伴う事故などの損害について弊社はその責任を負うことができませんので、ご了承ください。

□ 必ずお読みになり、よくご理解ください。

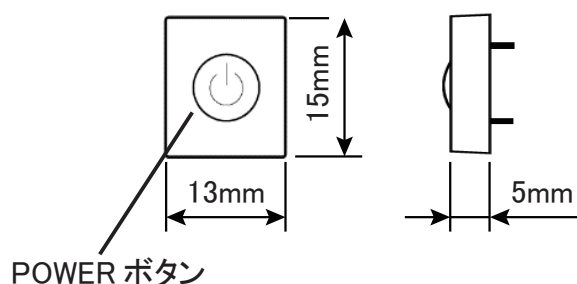
- ・ 本製品は純正の電子制御スロットルの信号を制御し、実際に運転者がアクセルを踏み込んだ以上にスロットルを開けることで、体感的なパワーやスタートダッシュの軽快感などが得られますが、実際の最大出力が向上するものではありません。また、体感的な部分には個人差があり、車種によっても制御方法の違いや個体差があるため体感しづらい場合もございます。予めご了承ください。
- ・ 本製品の機能は本製品の概要をご理解いただいていない、ご本人様以外の方が本製品を装着した車両を運転する場合、非常に危険です。ご本人様以外の方が運転する場合は必ず OFF またはノーマル状態に戻してください。

パーツリスト

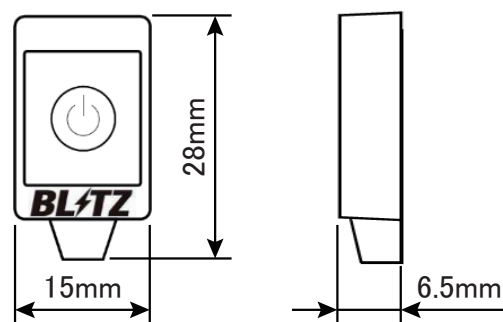
装着前に必ず不足品がないかご確認ください。

			
コンパクトスイッチ × 1	スイッチアダプター スイッチアダプター（カバー） × 各 1（両面テープ付）	本体ユニット × 1	専用センサーハーネス × 1
			
R キャンセルハーネス スプライス × 各 1	「Sma Thro」 ロゴシール × 1	両面テープ大 × 2	タイラップ × 4
			
取扱説明書・保証書 × 1			

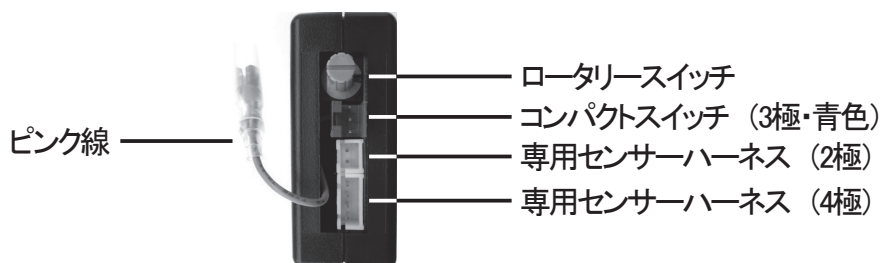
コンパクトスイッチ



スイッチアダプター



本体ユニット



⚠️ 取り付け前に必ずお読みください ⚠️

- ⚠️ 取り付け作業は基本的にバッテリーを外さずに行ってください。
バッテリーを外した場合にアイドリングなどの学習が必要になる場合があります。
- ⚠️ 取り付けの作業はエンジン停止後（イグニッション OFF 後）、【 15 分 】 以上経過してから行ってください。エンジンを停止しても、しばらくセンサーの電源が切れない車種があり、この状態でセンサーのコネクターを抜くと、センサー信号断線となり、エンジンなどのチェックランプが点灯します。
- ⚠️ スマートキー装備車はエンジン停止後（イグニッション OFF 後）、スマートキーを車両が認識しない場所に（10m 以上）離し、【 15 分 】 以上経過してから作業を行ってください。車両付近にスマートキーがあると、自動的にセンサーに電源が入り、この状態でセンサーのコネクターを抜くと、センサー信号断線となりエンジンなどのチェックランプが点灯します。

[1] アクセルポジションセンサーの位置とコネクターの形状確認

アクセルポジションセンサーは通常アクセルペダルの根元付近にあります。（一部車種除く）オルガン式ペダルの場合にはアクセルペダルの裏側にセンサーユニットがありますので、作業の際にアクセルペダルを車両から取り外す必要があります。
また、カバーやその他ユニットなどで隠れていて、直接目視できない場合もあります。



図1



図2

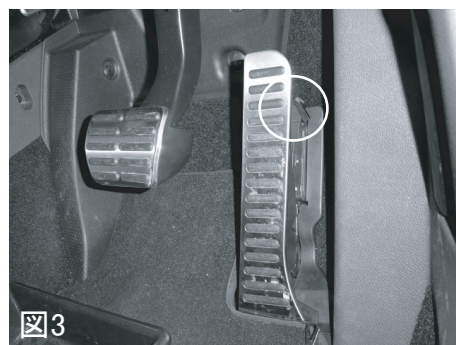


図3

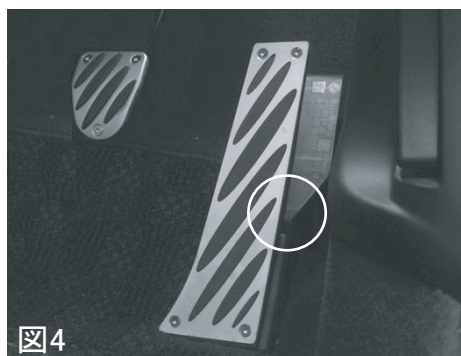


図4

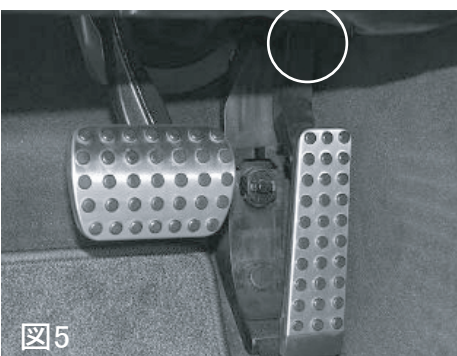


図5

- 図1 : ABARTH 595
- 図2 : BMW MINI RE16
- 図3 : VW Golf V
- 図4 : BMW 135i
- 図5 : Mercedes SLK350

上記の白丸辺りに純正センサーおよびコネクターがあります。（写真は一例です。）

⚠️ 注意 ⚠️

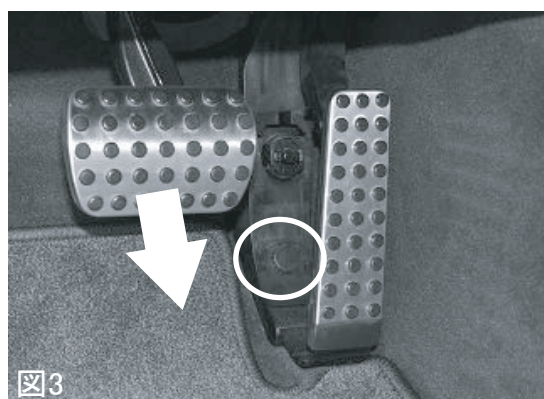
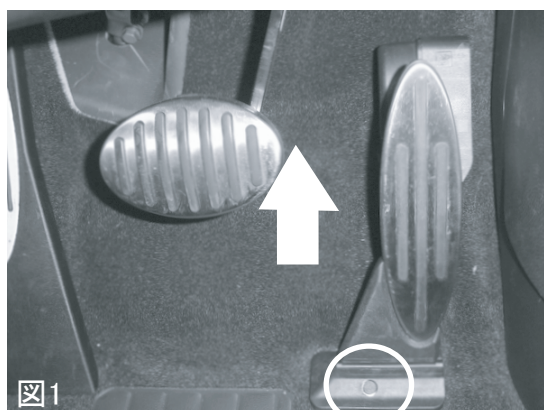
車両の年式やグレード、仕様変更などにより形状が異なっている場合があります。
本製品に同梱しているハーネスのコネクターと形状を見比べ、形状が違う場合には装着できませんので、無理な装着や配線加工等は絶対に行わないでください。

[2] アクセルポジションセンサーのコネクター取り外し

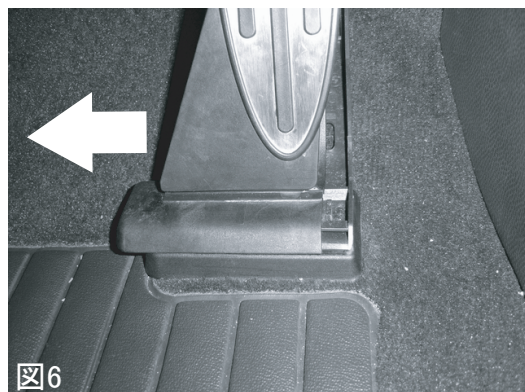
アクセルペダルを取り外さないと、アクセルポジションセンサーのコネクターを取り外せない場合があります。また、初めて車両のアクセルポジションセンサーのコネクターを脱着する場合、非常に固く外しづらい場合があります。工具等で無理に外そうとするとコネクターが破損する恐れがありますので、絶対におやめください。コネクターが固い場合は、ドライヤー等で適度に温め、柔らかくすることで外しやすくなります。

〈例〉アクセルペダルの外し方

- ・ 白丸部の丸いカバーを取り外し、ボルト・ナットを取り外します。(図1～図4参照)
- ・ アクセルペダルを矢印方向に動かすと、ペダルが取り外せます。(図1、図3参照)



- ・ 図5白丸部のアクセルペダル側面のツメをードライバで床方向に押しながら、アクセルペダルを矢印方向に押してください。(図5参照)
- ・ 矢印方向にある程度動いたら、再度、図5のツメを床方向に押しながら、アクセルペダルを矢印方向に動かすとペダルが取り外せます。(図6参照)



※ マイナスドライバで押す際は先端をテープや布などで包み、車両側に傷がつかないように注意してください。

図1、図2 : BMW MINI MF16S/BMW 135i

図3、図4 : Mercedes SLK350

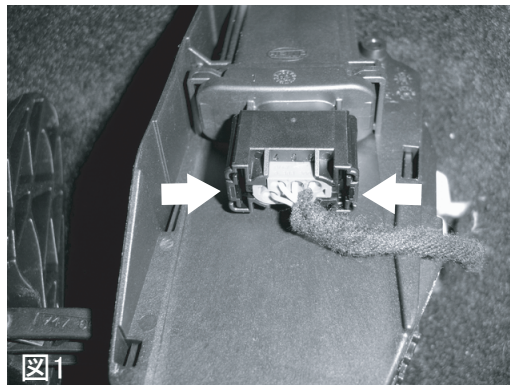
図5、図6 : BMW MINI RE16

[2] アクセルポジションセンサーのコネクター取り外し 続き

〈例〉コネクターの外し方

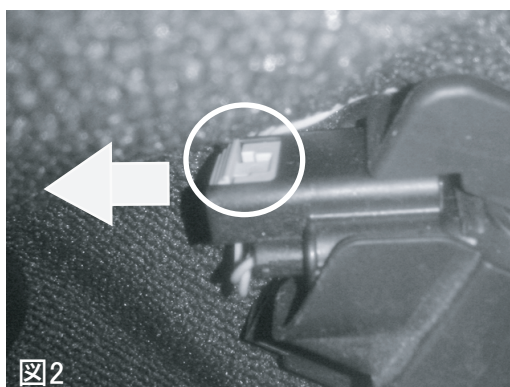
BMW / MINI / Mercedes

- ・ ツメを内側に押しながら、引き抜きます。(図1参照)



Audi

- ・ 車両に付いているコネクターの白丸部の灰色のツメを、車両下側に押しながら矢印方向に引き抜きます。(図2参照)
- ※ ツメをしっかり押し切らないとコネクターのロックが外れませんので注意してください。



VW Golf

- ・ 車両に付いているコネクターの赤色のツメを矢印方向に引っ張ってください。(図3参照)
- ・ 赤色のツメが図4のように出ている事を確認し、矢印方向に引き抜いてください。(図4参照)

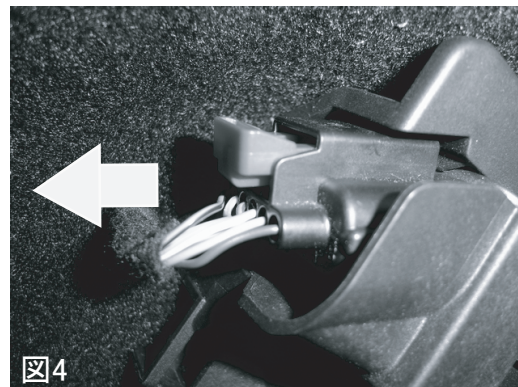
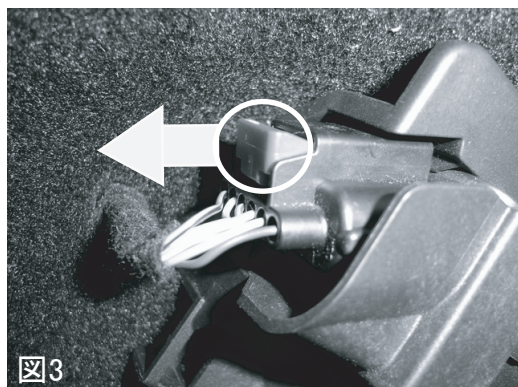


図1 : BMW MINI MF16S / BMW MINI RE16 / BMW 135i

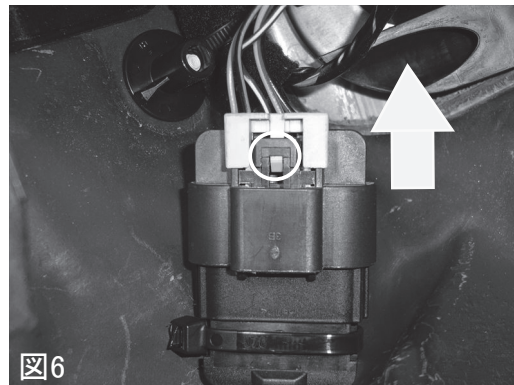
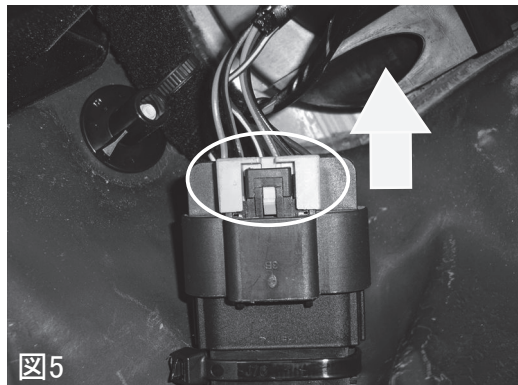
図2 : Audi等

図3、図4 : VW Golf GTI

[2] アクセルポジションセンサーのコネクター取り外し 続き

ABARTH

- ・ 車両に付いているコネクターのロック機構を矢印方向に引上げてください。(図5参照)
- ・ ロック機構が図4のように出ている状態でツメを押し、矢印方向に引き抜いてください。(図6参照)

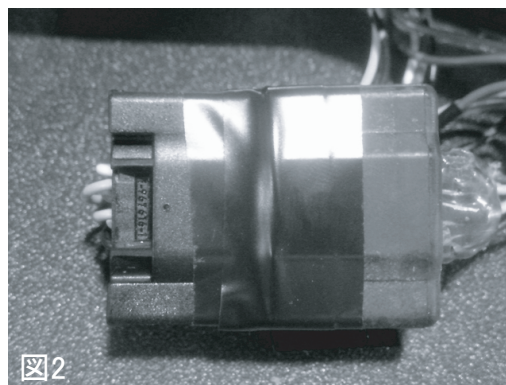
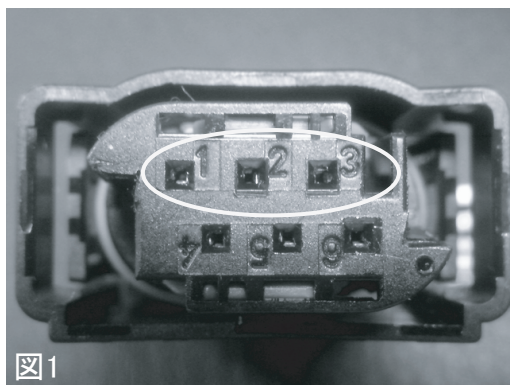


[3] 専用センサーハーネスの装着

製品同梱の専用センサーハーネスのコネクターをセンサー側、車両ハーネス側にそれぞれ装着してください。

〈例〉コネクタの接続

- ・ コーシヨンステッカーが貼ってある場合、貼ってある面と車両側コネクター接続部の番号1、2、3の方向を合わせて装着してください。(図1参照)
- ・ 装着後必ずビニールテープ等で固定してください。(図2、図4参照)



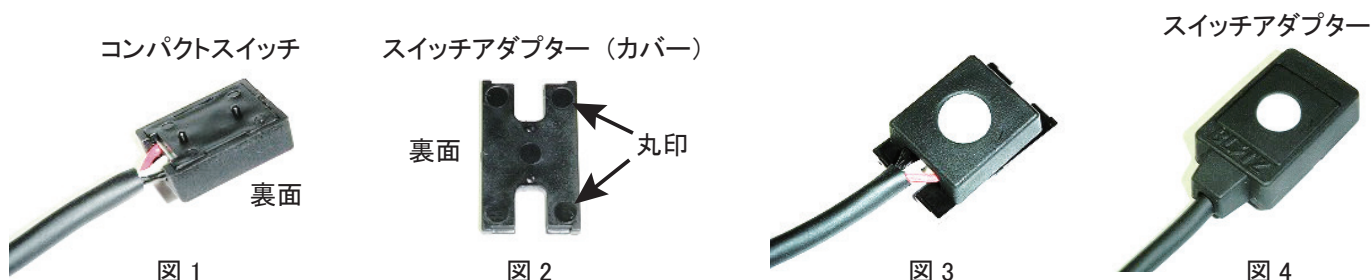
- ・ コーシヨンステッカーが貼ってある面と車両側コネクターのロック部分(ツメ)を合わせて装着してください。(図3参照)



※ コネクターの表裏を間違えて装着するとセンサー破損や本体ユニット破損、エンジンチェックランプ点灯など様々な不具合が起こる恐れがあります。間違いの無いように作業を行ってください。

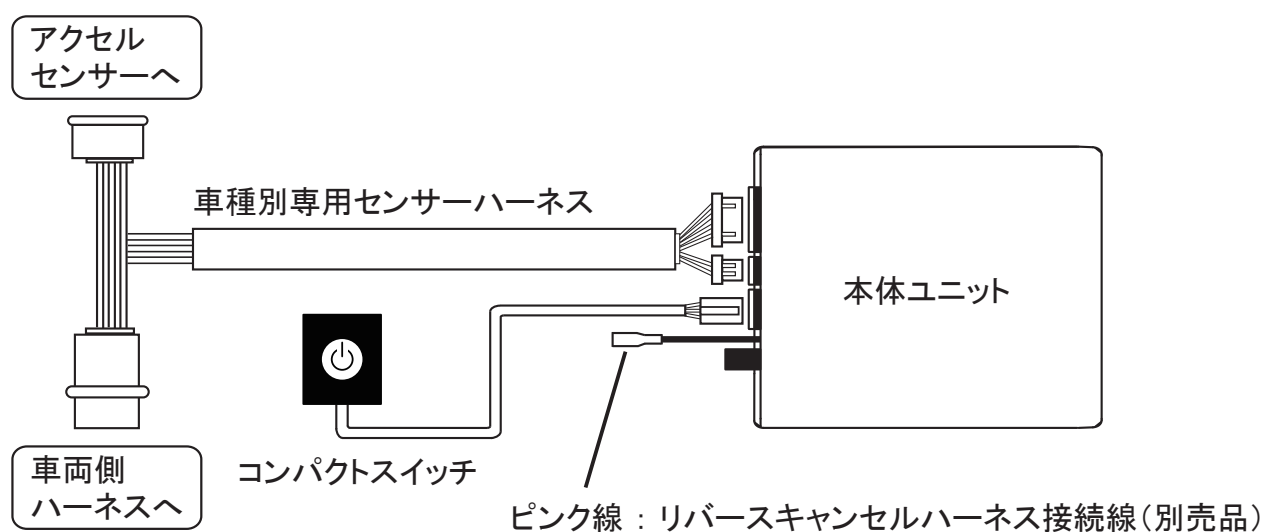
〔4〕スイッチアダプターの組み立て

- ① コンパクトスイッチの裏面にある2つの突起（図1）を、スイッチアダプター（カバー）の中央部の2つの穴に挿し込み（図2）、位置合わせしてください（図3）。
 - ※ スwitchアダプター（カバー）の5つの丸印がある面が裏面になります（図2）。丸印のない面にコンパクトスイッチを固定してください。表裏を間違えると正確にスイッチを組み立てられませんので、ご注意ください。
 - ※ 固定には、両面テープは使用しません。付属の両面テープはスイッチを車両側に固定する際に使用します。
- ② スwitchアダプターを被せて、「パチッ」と言うまでしっかりはめ込んで下さい（図4）。この際にコンパクトスイッチの配線を挟み込まないように注意してください。コンパクトスイッチの配線は大変細くなっています。切断しないように注意してください。



〔5〕本体ユニット、スイッチの接続

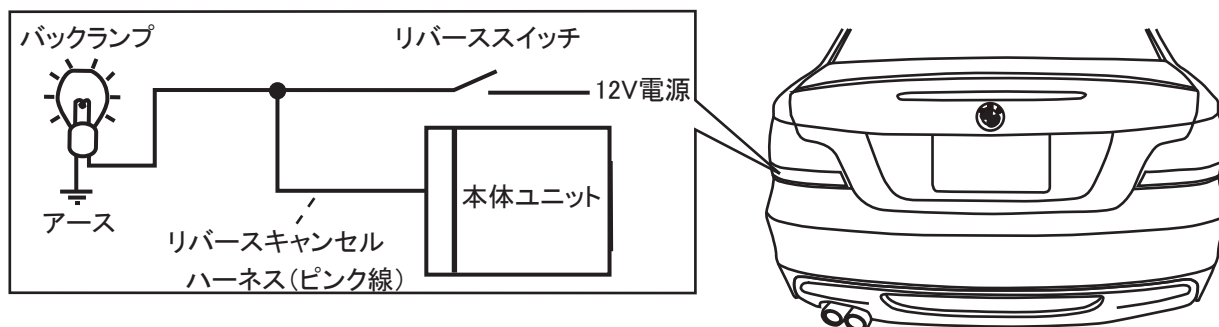
【接続イメージ】



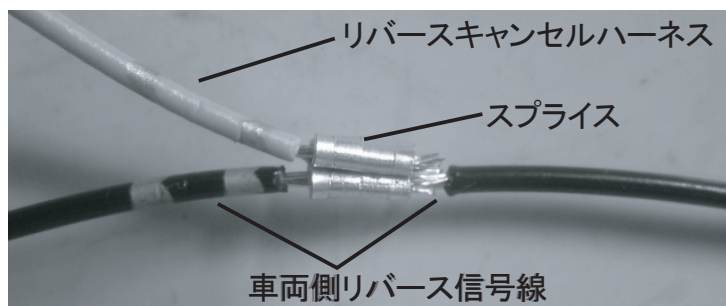
- ① 専用センサーハーネスの2極と4極コネクターおよび、コンパクトスイッチの3極コネクター（青色）を本体ユニットに接続してください。
- ② 本体ユニットより出ているピンク配線にリバースキャンセルハーネスを接続します。
 - ※ このハーネスはリバースキャンセル機能および本体のON/OFFスタートの設定に使用します。
 - ※ リバースキャンセルハーネスは接続しなくても、スロコン機能に影響はありません。
- ③ 運転操作の妨げにならない位置に本体ユニットを固定し、配線をまとめてください。
 - ※ 本体は水や熱がかからない場所に確実に固定してください。
 - ※ 付属の『Sma Thro』ロゴシールはお好みの場所に貼ってください。
- ④ この時点ではまだエンジンの始動はせず、必ず初期設定を行ってください。

〔6〕リバースキャンセルハーネスの接続

- ・リバースキャンセルハーネスのオスギボシを本体ユニットのピンク線に接続します。
- ・車両の整備書などで、ギヤをバックに入れた際に+12Vを出力する線に、リバースキャンセルハーネスの片側を同梱しているスプライスを使用し、下図を参考に接続してください。



- ・スプライスは下図の様に接続し、圧着ペンチなどでしっかりとカシメてください。
- ・カシメた後は、金属部分が剥き出しになっている為、ビニールテープ等の絶縁出来るものでしっかりと絶縁してください。

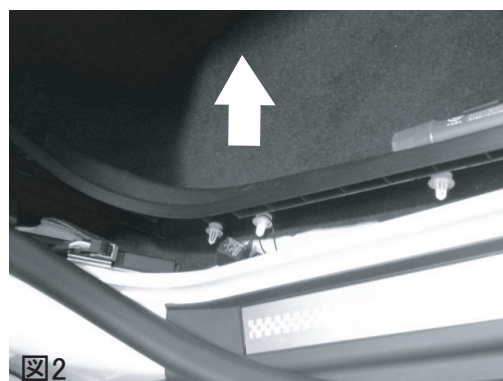


- ※ カシメたリバースキャンセルハーネスを軽く引っ張り、しっかりとカシメられているか確認してください。
- ※ 金属部分を絶縁しない場合、車体側アース部分とショートしてしまい、バックランプ等の破損の原因となりますので注意してください。
- ※ 接続が終わった後は、リバース時に+12V流れるか、テスターなどで必ず確認してください。

〈例〉リバースキャンセルハーネスの接続箇所

〔BMW MINI MF16S 右ハンドル〕

- ・助手席側下部のスカッフプレート横の内装ゴムカバーを図の様に引っ張りながら外してください。(図1参照)
- ・内装を矢印方向に引っ張りながら外してください。(図2参照)



- ※ 内装はクリップでとまっている為、無理に引っ張りツメを壊さないように注意してください。

[6] リバースキャンセルハーネスの接続 続き

[BMW MINI MF16S 右ハンドル] 続き

- ・図3の白丸部の配線の水色/灰色線に接続してください。



図3

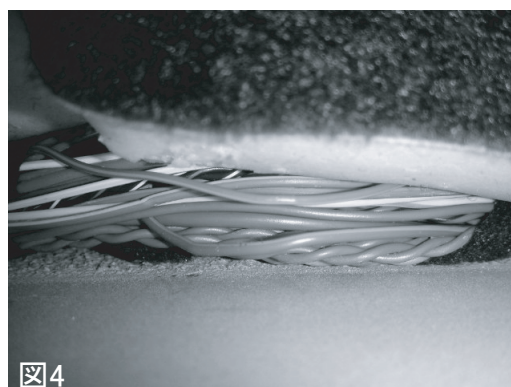


図4

- ※ 水色/灰色線は数本ある為、水色、灰色、それぞれ二色入っている一番太い線に繋げてください。
- ※ 確認のため、リバース時に+12V流れるかテスターなどで確認してください。

[BMW MINI RE16 右ハンドル]

- ・助手席側下部のスカッフプレート横の内装ゴムカバーを図の様に引っ張りながら外してください。(図1参照)
- ・ヒューズボックス奥のクリップを外してください。(図2参照)



図1

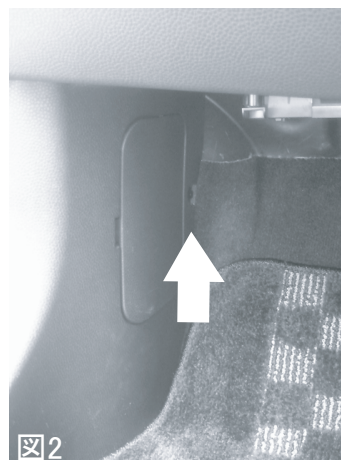


図2

- ・クリップの頭部を引っ張り、図3から図4の状態にし、クリップを取り外してください。



図3



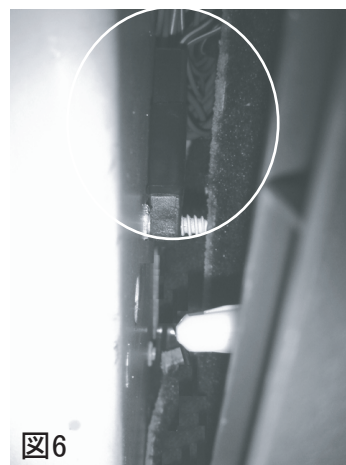
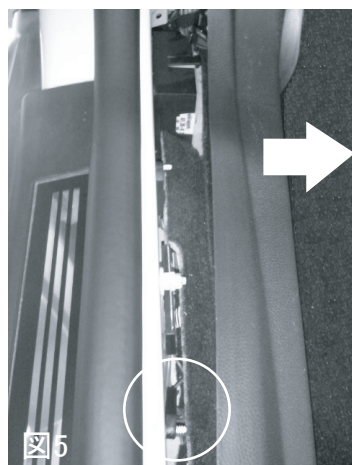
図4

- ※ クリップの頭部を引っ張らない状態のまま無理に外そうとすると、クリップのツメが割れてしまう恐れがあるので注意してください。

[6] リバースキャンセルハーネスの接続 続き

〔BMW MINI RE16 右ハンドル〕 続き

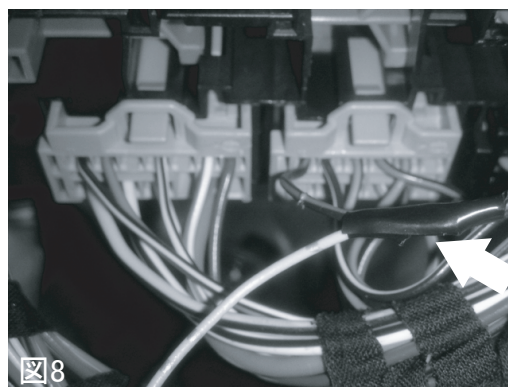
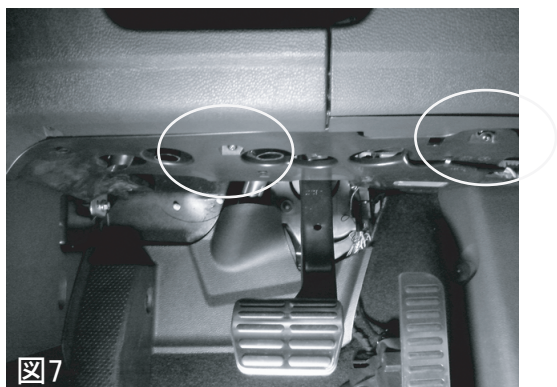
- ・ 内装を矢印方向に引っ張りながら外してください。(図5参照)
- ・ コネクターが3本ありますので、一番下の白丸部コネクターに繋がっている水色/黄色線に接続してください。



- ※ 内装はクリップでとまっている為、無理に引っ張りツメを壊さないように注意してください。
- ※ 確認のため、リバース時に+12V流れるかテスターなどで確認してください。

〔VW Golf GTI 右ハンドル〕

- ・ 運転席下部のカバーを外してください。(図7の白丸部分にボルトが付いています)
- ・ 右側茶色コネクタの左上部にある矢印の黒/青線に接続してください。(図8参照)



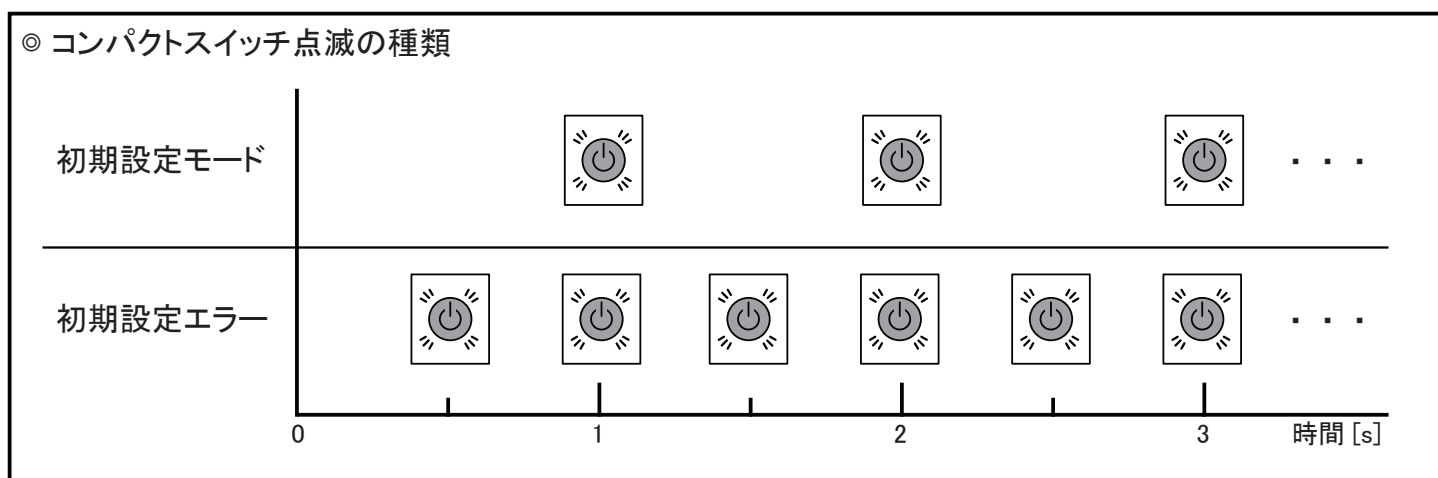
- ※ 確認のため、リバース時に+12V流れるかテスターなどで確認してください。

⚠ 取り付け後は必ず初期設定を ⚠

- ⚠ 取り付け作業後、必ず下記手順に従い本製品の初期設定を行ってください。
初期設定を行わないままエンジンを始動すると、車両の ECU がセンサー信号を認識できず、エンジンのチェックランプが点灯します。
- ⚠ 初期設定は絶対にエンジンを始動させず、IG-ON 状態で行ってください。
- ⚠ 取り付け車両の変更を行った際にも、必ず初期設定を行ってください。
車両ごとの個体差により初期設定値が異なり、車両不具合の原因となります。
- ⚠ 初期設定をきちんと行えなかった場合、LED が【点滅】を繰り返します。
この場合は初期設定をやり直してください。

- ① コンパクトスイッチの POWER ボタンを押し続けた状態で IG-ON にしてください。
※ 絶対にエンジン始動しないでください。
※ 初期設定はロータリースwitchの設定値がどのモードに設定されていても問題ありません。
- ② POWER ボタンを押し続けていると、コンパクトスイッチの LED が【点灯】から、1 秒間隔の【点滅】に変わり、初期設定モードに移行します。
初期設定モードに移行したら POWER ボタンを押すのをやめてください。
※ 初期設定モードは 15 秒間です。最後の 2 秒間は LED の【点滅】が少し早くなります。
- ③ 15 秒以内にアクセルペダルの全開と全閉を 2 回以上繰り返してください。
※ この操作でスロットルポジションセンサーの電圧信号の 0% と 100% の学習を行います。
踏み込みが甘いと走行中にチェックランプが点灯する場合があるので、確実にアクセルペダルを踏み込んでください。
※ キックダウンスイッチ装着車両では、踏み込んで止まったところから、もう一段奥まで確実に踏み込んでください。
※ 初期設定モード中に IG-OFF やエンジンの始動は絶対に行わないでください。
- ④ 正常に初期設定が完了し、15 秒間の初期設定モードが終わると、コンパクトスイッチの LED が【点滅】から【点灯】に切り替わります。
※ 初期設定モードが終わり、コンパクトスイッチの LED が【0.5 秒間隔の点滅】に切り替わると、初期設定に失敗しています。再度、初期設定を初めからやり直してください。

◎ コンパクトスイッチ点滅の種類



⚠ Mercedesへの装着、及び下記症状が発生した場合 ⚠

本製品をMercedesへ装着する場合と、上記の通常装着を行って次のような症状が発生した場合は、下記要領により初期設定をやり直してください。

[症状]

- ・アイドリング時のエンジンハンチング
- ・POWERをONにただけでアイドリング回転が上がる
- ・高速走行中にアクセルOFFした時に最大ギヤまでシフトUPしない
- ・エンジンチェックランプ点灯

[上記の場合におこなう初期設定]

※ これは停車時に、エンジン始動状態で初期設定をおこなう方法です。
走行中の設定は絶対におこなわないでください。

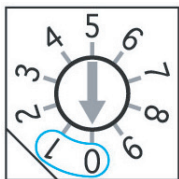
- ① エンジンを始動し、十分に暖気を行ってください。(エアコン、オーディオ類は OFF にしてください。)
※ 初期設定はロータリースイッチの設定値がどのモードに設定されていても問題ありません。
- ② POWER ボタンを押し続けていると、コンパクトスイッチの LED が【点灯】から、1 秒間隔の【点滅】に変わり、初期設定モードに移行します。
初期設定モードに移行したら POWER ボタンを押すのをやめてください。
※ 初期設定モードは 15 秒間です。最後の 2 秒間は LED の【点滅】が少し早くなります。
- ③ 15 秒以内にアクセルペダルの全開と全閉を 1 回ずつ行ってください。
※ この操作でスロットルポジションセンサーの電圧信号の 0% と 100% の学習を行います。
踏み込みが甘いと走行中にチェックランプが点灯する場合があるので、確実にアクセルペダルを踏み込んでください。
※ アクセルを全開にした時にエンジン回転が一気に上昇します。全開状態を長く続けるとエンジンの負担となります。
全開状態は極力短時間で行ってください。本製品は全開状態が一瞬でも認識するように設計されています。
※ 初期設定モード中にエンジンを停止させないでください。
- ④ 正常に初期設定が完了し、15 秒間の初期設定モードが終わると、コンパクトスイッチの LED が【点滅】から【点灯】に切り替わります。
※ 初期設定モードが終わり、コンパクトスイッチの LED が【0.5 秒間隔の点滅】に切り替わると、初期設定に失敗しています。再度、初期設定を初めからやり直してください。

各種モード説明

モードの切り替えは本体ユニット側面のロータリースイッチで行います。

「ECO」モード

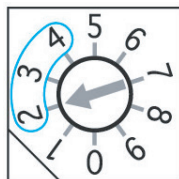
(2モード)



- 純正よりも緩やかな出力曲線を描く、燃費重視のセッティングです。
2モードでエコランを実現します。
ダイヤル【0】がAUTOモードを除く8モードの中で、最もエコな低比率となります。

「MILD」モード

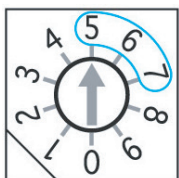
(3モード)



- 段つきのないスムーズな加速を目指した通常走行向きのノーマル+ α のセッティングです。
3モードを用意し、きめ細かいコントロールが選択できます。
ダイヤル【2】が3モードの中で、もっとも低比率となります。

「SPORT」モード

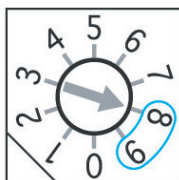
(3モード)



- アクセルレスポンスの向上に特化した、もっとも過激なモードです。
純正のような緩慢な反応ではなく、入力に対してリニアな加速を実現します。
ダイヤル【7】がAUTOモードを除く8モードの中で、もっとも過激な高比率となります。

「AUTO」モード

(2モード)



- 走行状態により7段階の比率を、マイコン制御により自動的に選択します。
渋滞時から高速走行時まで、さまざまなシチュエーションにおいて常に最適なモードを、この「Sma Thro」が自動判別し快適な制御を行います。
他のモードからAUTOモードに変更した場合は、その時点での最適な状態からスタートとなります。

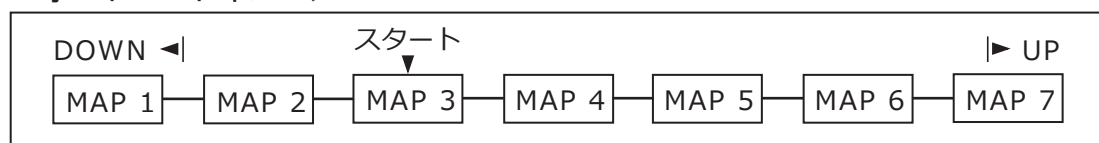
ダイヤル【8】

「MAP1」が低比率。加速するにつれてアクセルが一定でも徐々に加速していきます。
低速時や後退時の急激な挙動を抑え、いちいち切り替える必要もなく、
快適でスムーズなドライブが可能です。

ダイヤル【9】

「MAP1」が高比率。加速するにつれてアクセルが一定でも徐々に比率がダウンしていきます。
車速が乗った状態や、あまりパワーを必要としない領域での無駄なアクセル操作を
抑制することで燃費の向上も望めます。比較的にパワーのある大排気量車に最適です。

* オートモードイメージ



- ※ AUTOモード中はスロットル開度をマイコンで制御しているため、
アクセル操作により常時段階が変化します。
この時にコンパクトスイッチのLEDが点滅しますので、段階が変化した時の目安になります。
 - ・ 比率DOWN方向 ⇒ 2回点滅
 - ・ 比率UP方向 ⇒ 1回点滅
- ※ AUTOモードの状態でエンジンをかけた場合は、「MAP3」からスタートとなります。

◎ リバースキャンセルモード

リバースキャンセルハーネスを車両のリバース信号線に接続することで、リバース時に自動的に本製品の動作をキャンセル（OFF 状態）にすることができる安全機能です。
また、リバースから戻すことで自動的に ON 状態に戻ります。

◎ ON/OFF スタート設定

本製品出荷時はセーフティ機能の一環として、エンジン停止毎（IG-OFF 毎）に OFF 状態からスタートするように設定されています。

本機能はリバースキャンセルハーネスを車両のリバース信号線に接続し、下記設定を行うことで、エンジン始動時からロータリースイッチで設定したモードを ON スタートさせることができます。
エンジン始動毎のスイッチ操作が不要になる便利な機能です。

- ① リバースキャンセルハーネスを、本体ユニットのピンク線と車両のリバース信号線に接続してください。
- ② イグニッション ON の状態で、シフトをリバースに入れてください。
※ エンジンは始動せずに行ってください。
- ③ リバースの状態コンパクトスイッチを 6 秒以上長押しすることでスタート時の機能が切り替わります。
- ④ ②～③を繰り返す度に ON/OFF スタートの設定が切り替わります。
- ⑤ 車両のエンジンを切り、スロコンの電源が落ちたことを確認してから、再度エンジンを始動し、設定が切り替わっていることを確認してください。

※ 一部の車両にてエンジン停止後、15 分以内に再始動させた場合、OFF 設定にしているにもかかわらず ON 状態でスタートする場合があります。エンジンを停止（IG-OFF）にしても車両のセンサーに電源が切れないため、本製品の故障ではありません。

※ 本設定の際にリバースに入れない状態で、コンパクトスイッチのボタンを長押しすると、初期設定モードに移行してしまいます。初期設定を行わず、初期設定モードが終わるとチェックランプが点灯してしまいますので、必ず初期設定を行ってください。

※ 車両のリバース信号線の位置についてのお問い合わせに関して、弊社では一切お受けできませんのでご了承ください。カーディーラーへお問い合わせ頂きますよう、お願いいたします。

トラブルシューティング

本製品の使用にあたり、正常に動作しない場合などは下記項目をチェックしていただき、症状の確認と不具合の改善を試みてください。

ご確認いただいても症状が改善しない場合は、販売店・取り付け店にご相談いただくか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

症状	原因および対策
電源が入らない スイッチの LED が点灯しない	・専用センサーハーネスのコネクタ挿入方向の間違いや接続間違いをしていませんか？ 向きや挿し込み具合が再度ご確認ください。
電源が切れない スイッチの LED が消灯しない	・一部車両ではエンジンを停止（IG-OFF）しても、センサーの電源が切れないため、スイッチの LED がしばらく点いた状態になります。本製品の故障ではありません。 最長で 15 分程度でセンサー電源が切れ、スイッチの LED も消灯します。
ドアを開けるとスイッチ LED が点灯する	・一部車両ではスマートキーを持った状態で車両に近づく、または車両のドアを開閉することで、センサーに電源が自動的に流れるものがあります。本製品の故障ではありません。
アイドリング不調	・初期設定が正常に行われていない可能性があります。再度初期設定を行ってください。 ・取り付け作業時にバッテリーを外した場合、アイドリング学習が必要な場合があります。 一度専用センサーハーネスを取り外し、アイドリング学習を行ってから再度取り付けてください。 アイドリング学習の方法については販売店もしくはカーディーラーにお問い合わせください。
エンジン不調	・初期設定が正常に行われていない可能性があります。再度初期設定を行ってください。 ・専用センサーハーネスのコネクタ挿入方向の間違いや接続間違いをしていませんか？ 向きや挿し込み具合が再度ご確認ください。
エンジンまたはハイブリッドの チェックランプが点灯	・エンジン停止（IG-OFF）後、15 分以内にアクセルポジションセンサーのコネクターを抜く、 またはスマートキーを車両から遠ざけない状態でコネクターを抜いていませんか？ ・初期設定が正常に行われていない可能性があります。再度初期設定を行ってください。 ・専用センサーハーネスのコネクタ挿入方向の間違いや接続間違いをしていませんか？ 向きや挿し込み具合が再度ご確認ください。
音がならない	・本製品にはスピーカーがないため、音はなりません。コンパクトスイッチの LED の状態で 本製品の動作状態を判断してください。
キックダウンしづらい シフトポイントが変化した	・本製品は実際にアクセルペダルを踏んでいる状態よりも、擬似的に踏んでいない（ECO 時）、 または踏んでいる（ECO 以外）状態を作り出しています。設定しているモードによっては、 キックダウンやシフトポイントの感覚が純正状態とは異なる場合があります。本製品の故障では ありません。
ブースト特性が変わった	・ターボチャージャーなどの過給器付き車両の場合、ブースト特性が変わる場合があります。 特にブーストアップやタービンの変更を行っている場合は、ブーストの再調整を行ってください。

⚠ チェックランプ消灯方法 ⚠

・作業ミス等でエンジンまたはハイブリッドのチェックランプが点灯した場合は下記手順でチェックランプの消灯を試みてください。

- ① 専用センサーハーネスを取り外し、車両を純正に戻した状態で、エンジンの始動と停止を数回繰り返してください。
（この操作によってチェックランプが消灯しても、点灯した履歴はECUに残っています。）
- ② ①の操作を行っても消灯しなかった場合、バッテリーのマイナス端子を5分程度外し、戻してください。
- ③ ①および②の操作を行ってもチェックランプが消灯しない場合は、販売店やカーディーラーにて専用の診断機を使用して消灯させてください。

保証規定とカスタマー登録

本製品には製品保証を設けております。
製品保証を受けるためには下記カスタマー登録が必要になります。

保証内容について

- 弊社の製品保証は、保証書に記載されたお客様、製品期間、保証規定に基づいて、本製品が正常なご使用状態で製造上の原因による故障が生じた場合には、弊社による製品の無償保証をお約束するものです。したがってカスタマー登録後、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。また、いずれかひとつでも保障規定の免責事項に該当する場合は、保証期間内であっても保証対象外となりますので、予めご了承ください。
- 弊社は印刷物の内容に万全を期しておりますが、万が一、印刷の誤りなどがあった場合には、弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 弊社は必要とみなした場合に予告なしに保証規定を改定する権利を有しております。当規定において保証内容の変更があった場合、改定後の保証内容に基づいて保証させていただきます。
- 本製品が原因で生じた傷害（車両トラブル、その他の事故一切）や自動車が使用できなかったことによる損失などにつきましては、一切の保証は致しかねます。また、その際に発生するすべての費用（脱着工賃、関連作業工賃、送料・関連して生じた直接および間接の損失、損害）につきましても、弊社では一切責任を負いかねますので予めご了承ください。

カスタマー登録について

お買い上げいただいたお客様に弊社規定に基づいた製品保証を提供させていただくために「カスタマー登録」をお願い致します。

下記 Web サイトよりオンライン上で簡単に登録が可能ですので、必ずご登録をお願い致します。パソコンをお持ちでないお客様は弊社サポートセンター（0422-60-2277）までお問い合わせください。尚、カスタマー登録されていない場合、保証期間内であっても保証対象外となりますので、ご注意ください。

<http://www.blitz.co.jp/support/registration/registration.html>

株式会社ブリッツ（以下「当社」といいます）はお客様からお預かりした個人情報の保護はきわめて重要なことと認識しており、関係法令および規範を厳守し、以下の個人情報保護を定め確実な履行に努めてまいります。

- 当社では、お客様へのサービスの充実や製品の品質向上、また採用活動のため、必要な範囲でお客様の個人情報を収集することがあります。収集するにあたっては、できる限り目的を限定し、お客様の同意を得たうえで適切な方法で収集いたします。
- 当社は、お客様の個人情報を、お客様の同意なしに義務委託先以外の第三者に提供することはありません。ただし、法令により開示を求められた場合、または裁判所・警察等の公的機関から開示を求められた場合はその限りではありません。
- お客様自身のお申し込みがあった場合、情報の開示・訂正・削除を速やかに行います。

製品についてのお問い合わせ

連絡先	株式会社ブリッツ サポートセンター
所在地	〒202-0023 東京都西東京市新町 4-7-6
T E L	0422-60-2277
F A X	0422-60-0066
U R L	http://www.blitz.co.jp/

発売元

発売元	株式会社ブリッツ
所在地	〒202-0023 東京都西東京市新町 4-7-6
取扱説明書番号	1558003
初版作成年月日	2016 年 3 月 22 日

